

2008年10月8日  
日 本 銀 行

## 主要国中央銀行による本日の措置について

### 中央銀行共同声明

最近の国際的な金融危機に対して、各国中央銀行は、緊密な連絡をとり、金融市場の緊張を緩和するための流動性供給策など、前例のない協調行動をとってきた。

いくつかの国では、エネルギーや原材料価格の顕著な下落などを背景に、インフレ圧力が緩和し始めている。インフレ期待は減衰しつつあり、物価安定に対する信頼は高い。最近の国際的な金融危機の高まりによって、経済成長に対する下方リスクが高まっており、このため、物価安定に対する上方リスクは低下している。

こうした状況下では、グローバルな金融環境をある程度緩和することが正当化される。このため、カナダ銀行、イングランド銀行、欧州中央銀行、米国連邦準備制度、スウェーデン中央銀行、スイス国民銀行は、本日、政策金利の引き下げを公表した。日本銀行は、これらの措置に対して強い支持を表明した。

### 日本銀行の声明

日本銀行は、6カ国中央銀行による今回の政策決定を歓迎し、これらの措置が各国の経済と金融システムの安定確保に貢献することを期待している。

わが国においては、政策金利の水準は既にきわめて低く、緩和的な金融環境が維持されている。また、日本銀行は、連日の潤沢な円資金供給にとどまらず、ドル資金供給オペの導入を含め、流動性供給面の措置を果敢に講じてきている。こうした対応もあって、わが国の金融市場は、欧米と比べ相対的に安定した状態にある。

国際的な金融面の動揺が続く中であって、金融市場の安定を維持していくことは、中央銀行としての最も重大な責務である。日本銀行としては、今後とも、各国中央銀行と密接な連携をとりつつ、適切な金融調節を通じて、金融市場の安定確保に全力を挙げていく方針である。こうした観点から、日本銀行当座預金制度の運用を含め、金融調節面で更に改善を図る方策について速やかに検討し報告するよう、総裁より執行部に対し指示した。

## 各国中央銀行の措置

各国中央銀行の措置については、下記ウェブサイト参照。

カナダ銀行	<a href="http://www.bankofcanada.ca">http://www.bankofcanada.ca</a>
イングランド銀行	<a href="http://www.bankofengland.co.uk">http://www.bankofengland.co.uk</a>
欧州中央銀行	<a href="http://www.ecb.int">http://www.ecb.int</a>
米国連邦準備制度	<a href="http://www.federalreserve.gov">http://www.federalreserve.gov</a>
スウェーデン中央銀行	<a href="http://www.riksbank.se">http://www.riksbank.se</a>
スイス国民銀行	<a href="http://www.snb.ch">http://www.snb.ch</a>

以 上